

既卒生のアンケート調査結果のまとめ

対象数： 2019年3月卒(卒後3年目)の学生196名(健康栄養学科69名、看護学科77名、リハビリテーション学科50名)

回収率： 10.7%(回収者数 21名)

はがきの返送数： 33枚(住所不定)今回の発送先データは同窓会データを使用したのが、郵送での戻りが多かった。

【まとめ】

- ・回答者のうち95%は、希望通りの就職ができています。
- ・回答者のうち90%は、大学で学んだ知識や国家資格をいかす仕事に従事している。
- ・大学時代にもっと身につけておいた方がよかったと感じた回答は、実践に役立つ専門知識、専門に役立つ基礎学力、専門外の知識や教養、多職種連携に関する基礎と応用が多かった。
- ・大学で学んだ知識と現場実践でみると、43%が、実習で修得した知識・技術が役立っていると回答した。
- ・今後、本学が力を入れるべきもの、社会人から見て、必要と思われるものでは、「コミュニケーション力を高める教育」、「専門分野の教育」、「プレゼンテーション・自己表現能力を高める教育」が上位に占めた。

以下、各質問項目に対する回答結果となります。

Q1 卒業後、希望通りの進路(就職先)に進むことができましたか。

	回答者数	割合
a.できた	10	47.6%
b.おおむねできた	10	47.6%
c.できなかった	1	4.8%
d.その他	0	0.0%
	21	100.0%

Q2 現在、大学で修得した専門知識や国家資格を活かす職に就いていますか。

	回答者数	割合
a.卒業後ずっと就いている	16	76.2%
b.現在は就いている	2	9.5%
c.過去には就いていた	1	4.8%
d.その他	2	9.5%
	21	100.0%

Q3 現在の担当業務をすすめる中で、あなた自身、大学時代にもっと身につけておいた方がよかったと感じるものは何ですか。

(複数回答可)

	回答者数	割合
a.実践に役立つ専門知識	14	24.1%
b.専門に役立つ基礎学力	8	13.8%
c.専門外の知識や教養	8	13.8%
d.多職種連携に関する基礎と応用	8	13.8%
e.文章や報告書の作成能力	6	10.3%
f.プレゼンテーション能力	5	8.6%
g.コミュニケーション能力	3	5.2%
h.パソコンスキル	4	6.9%
i.その他	2	3.4%
	58	100.0%

複数回答可

Q4 大学で受けた教育内容と現場での実務実践との距離感について当てはまるものはありますか。

	回答者数	割合
a.座学で修得した専門知識が役立っている	5	23.8%
b.実習で修得した知識・技術が役立っている	9	42.9%
c.国家試験対策教育が役立っている	2	9.5%
d.就職後、自己研鑽を積みなければ役立たない	5	23.8%
	21	100.0%

Q5 今後、本学が力を入れるべきものは何だと思えますか。社会人から見て、必要と思われるものをお選びください。(複数回答可)

	回答者数	割合
a.専門分野の教育	8	18.6%
b.一般教養を高める教育	3	7.0%
c.コミュニケーション力を高める教育	10	23.3%
d.プレゼンテーション・自己表現能力を高める教育	6	14.0%
e.キャリア教育の充実	4	9.3%
f.国家試験対策	4	9.3%
g.サークル活動、ボランティア活動	1	2.3%
h.大学行事の充実	2	4.7%
i.学内施設の充実	4	9.3%
j.奨学金等の充実	1	2.3%
k.その他	0	0.0%
	43	100.0%

複数回答可

以上